

第 5 回例会

2022. 8. 17

会員 68 名中 48 名出席 70. 59%

修正 56 人 82. 35%

メイクアップ 8 名

福島南ロータリークラブ 会長 渡邊 正義

今年度スローガン 【 インスパイヤ 】

◆会長挨拶 渡邊 正義 会長



先ほどのクラブ協議会ではいろいろご指導いただきまして誠に有難うございます。佐藤ガバナー様におかれましては先日の 8 月 3 日、4 日の豪雨に際して被害は如何だったでしょうか、心よりお見舞い申し上げます。あの時は福島市でも終日雷雨そして 4 日には震度 4 の地震にみまわれまして大変な 2 日間でした。福島市において床上床下浸水は比較的少なかった様に思いますが、喜多方は被害が甚大でした。これから復旧が始まると思いますが、1 日も早い復旧がなされますようにお祈りいたします。喜多方ロータリー様としても何か復旧のお手伝いとか支援物資とか考えておりますなら、南ロータリーにもお声を掛けてください。今、地球は温暖化現象の為どこで災害が起きてもおかしくない現状です、そういう時こそロータリーの結束力、奉仕の精神が試される時ではないでしょうか。これで会長挨拶を終わります。

◆ガバナー公式訪問 ご来訪者様

第 2530 地区ガバナー	佐藤 正道 様
第 2530 地区副幹事	瀬野 勝治 様
県北第一分区ガバナー補佐	箭内 一典 様
県北第一分区幹事	高橋 正見 様
県北第一分区幹事	佐藤 龍史 様





佐藤正道ガバナーよりRI会長テーマの説明、国際ロータリーの年次テーマ、地区のスローガン、地区チームの運営方針のご説明等と、クラブの反映、存続のために女性会員の必要なことをご説明頂きました。

又、地区は「クラブの御用聞き」の姿勢でのぞみます。とのお言葉も頂きました。



国際協議会RI会長エレクトテーマ講演



国際ロータリー会長エレクト
ジェニファー E. ジョーンズ

参 加 を 促 す

会員の積極的な参加を促すために、ロータリーには「適応と改革」が必要。
積極的な参加こそが会員の維持にとって重要。

目 的 意 識 と 熱 意

参加型の奉仕、人間的成長、リーダーシップ開発、生涯にわたる友情こそが、目的意識と熱意を生み出す。

ク ラ ブ 環 境

会員に奉仕できなければ、地域社会への奉仕もできない。会員にとって心地よい場所とし、会員への気配りがなければ、ロータリーの力を本当の意味で理解してもらうことはできない。

D E I

多様性、公平さ、インクルージョンを取り入れる努力において、インクルージョンのカギとなるのは、障壁を取り除くこと。**インクルージョンこそが、会員増強のカギ。**

女 性 会 員

RI理事会が定めた**女性の割合を30%**にする目標の達成期日は2023年6月。110カ国以上で既に達成。**30%は50%への足がかり。**

新 し い ク ラ ブ

新しいクラブモデルを受け入れることは、ロータリーの成長に不可欠。革新的クラブまたは活動分野に基づくクラブを少なくとも二つ設立する。

つ な が り

ロータリーの存在感を増すことにも重点を置く。地域社会とのつながりを生かして協力関係を深め、新たなパートナーシップを構築していく。



国際ロータリー2022-23年度年次目標



ロータリーのビジョン声明

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。



優先事項1「より大きなインパクトをもたらす」目標

1. **ポリオを根絶し、ロータリーの役割を強調する。**
2. 2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やす。
3. 特にロータリーの七つの重点分野において、**新たなパートナーシップ**を築き、同分野で成果を上げているクラブ、地区、国際プログラムおよびプロジェクトにスポットライトを当てる。

優先事項2「参加者の基盤を広げる」目標

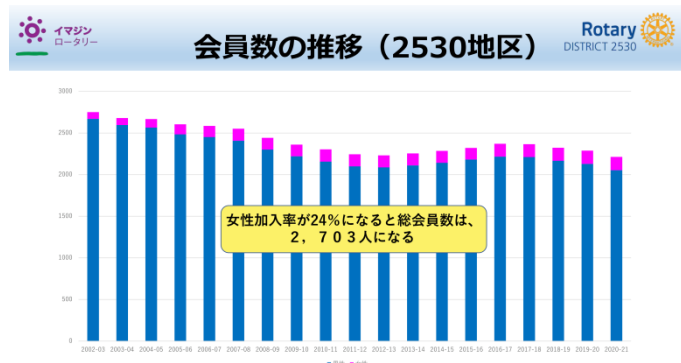
1. 影響力を持った人びと、目的に基づき行動する人びと、世界を変える行動人としてのロータリーの国際的な立場を向上させる。
2. **新しく革新的なクラブや参加を促す経路を新設し、発展させる。**

優先事項3「参加者の積極的なかわりを促す」目標

1. 個人的成長、リーダーシップ開発、奉仕、ネットワークづくりの機会を通じ、ロータリーの中核的価値観を支える**会員の参加促進**ツールを向上させる。
2. 特にロータリー、ローターアクト、インターアクトクラブのすべての参加者の**進捗を強める。**

優先事項4「適応力を高める」目標

1. **バーチャルでのつながりの活用を支援・推奨し、対面式の会合、研修、ファンドレイジング、奉仕プロジェクトを最適化する。**
2. ロータリーファミリーのすべてのリーダーシップレベルで**多様性、公平さ、インクルージョン**が実現できるよう取り組みを強化する。
3. ロータリーの奉仕提供およびボランティアリーダーシップの構成を見直し、効果を高め、責務および説明責任の所在をより明確にする。



イマジン ロータリー Rotary DISTRICT 2530

2022-23年度地区スローガン

情熱 行動 感動 共有

情熱（熱い想い）をもって行動し、感動（成果）を共有（共に分かち合う）しよう

地区方針

国際ロータリー2022-23年度年次目標を達成するため、**DEI**を取り入れ、**行動規範**を遵守し、**ロータリーの行動計画**を実践します。
やらされ感からやりがい感へ。会員とクラブが輝く地区づくり。
クラブが自主性を持って活動できるよう、クラブが主役の地区運営を目指します。
クラブの御用聞きとなってクラブを支援していきます。

イマジン ロータリー Rotary DISTRICT 2530

地区チーム運営方針

- ガバナー補佐の積極的な関与（クラブのサポート）
- DEIの取り組み。（各チームがDEIに基づき活動する。）
- ロータリーの行動規範を遵守する。
- 地区は、**クラブの御用聞き**の姿勢で臨む。
- 委員会を開催する。**
進捗状況を把握する。
より多くのメンバーが参加できるよう配慮する。
開催日程をガバナー事務所又は地区事務所へ報告する。
委員会欠席者へのケアをする。
- 担当委員会の内容を地区研修・協議会までに熟知しておく。
- セミナー開催時には、必ずグループ分けによるディスカッションを取り入れる。
- 地区委員は極力RLIを受講する。

◆ガバナー公式訪問クラブ協議会

（8月17日 10：30～）



各委員会の活動計画を発表し、佐藤正道ガバナーからそれぞれに対しての講評を頂きました。
又、佐藤ガバナーから「ハーバート・テラーを知っていますか？」と聞かれ会報委員会の私、木村は答えることができませんでした。

「ハーバート・テラー」はシカゴRCの会員であり、倒産に瀕していたクラブ・アルミニウム社の社長に就任した際、正しい営業活動を行えば必ず会社は再建できると考え、「四つのテスト」を示しました。同社の業績は改善を続け、5年後には借金を完済、15年後には株主に多額の配当を分配するまでになりました。1954年、彼がRI会長に就任したとき、その著作権がロータリーに譲渡されました。四つのテストは世界各国の言葉で翻訳され、広く活用されています。

◆幹事報告

- ・ 8月31日(水)「オープン例会」(会員増強委員会)になります。

初めての試みです。皆様の協力で既に10名を超す候補者が出席の予定です。

全会員で温かくお迎えしましょう。

- ・ 9月の地区・分区行事予定

1. 9月2日(金)ガバナー歓迎晩餐会
2. 9月3日(土)米山梅吉翁研修会
3. 9月10日(土)新会員セミナー
4. 9月11日(日)ロータリー財団セミナー
5. 9月17日(土)社会・国際奉仕委員会セミナー
6. 9月25日(日)スポ GOMI 大会 (第一・第二分区合同)

◆ガバナーと一緒に写真撮影

